

2026年度 一般選抜（後期）

国 語

〈注意事項〉

- 1 解答はじめの合図があるまでは、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は折り曲げたり、汚したりしないでください。
- 3 問題は1ページから14ページまでです。
- 4 監督者の指示に従い、解答用紙に次の事項を記入し、マークしてください。

記入、マークするときは黒鉛筆（H、F、HBに限る）を使用し、誤ってマークした場合は消しゴムでていねいに消し、新たにマークし直してください。

- ①解答用紙の氏名・受験番号欄に「氏名」「受験番号」を記入し、受験番号マーク欄にマークしてください。

※記入例（受験番号「610123」：氏名「科学 大」の場合）

氏名	科 学 大					
	①	②	③	④	⑤	⑥
受験番号	6	1	0	1	2	3

受験番号 マーク欄	①	0	1	2	3	4	5	<input checked="" type="radio"/>	7	8	9
	②	0	<input checked="" type="radio"/>	2	3	4	5	6	7	8	9
	③	<input checked="" type="radio"/>	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	④	0	<input checked="" type="radio"/>	2	3	4	5	6	7	8	9
	⑤	0	1	<input checked="" type="radio"/>	3	4	5	6	7	8	9
	⑥	0	1	2	<input checked="" type="radio"/>	4	5	6	7	8	9

- ②入試区分欄の「一般後期」をマークしてください。

入試区分	<input checked="" type="radio"/> 一般後期
教科	<input checked="" type="radio"/> 国語 09

- ③解答用紙は、表面がマーク式の解答欄、裏面が記述式の解答欄になっています。

- 5 問題冊子は持ち帰ってください。

問題一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

脳は人が考え得る精密機械とは異なっているが、脳を真似^{まね}している、あるいは脳に近づいている機械があるという。それはAI（人工知能）と称されるシステムであり、高性能の機械（コンピュータ）で動作するプログラムである。従来、ヒトが行ってきた作業のうち、言語を介したコミュニケーションをAIが担当する場面が目立っているが、その他、医療分野における画像カイセキ⁽¹⁾や車の自動運転などでも活用されつつある。ヒトの身体が行ってきた力仕事を動力機械が担当するように、ヒトの脳が行ってきた作業のいくつかをAIが担当するようになりつつある。（a）、AIはいずれ脳と同じように働くようになり、将来、ヒトの脳を超えた人工脳に発展するという予測も出てきた。

しかし、AIが脳と同じように働くようになれば、AIも心をもつということになるが、それはあり得るのだろうか？ そもそも、現在流布している「脳を真似たAI」というのは、本当に真似しているのだろうか？

AIとは、人の作業をサポートしたり、人の代わりに務めたりするために開発されたコンピュータプログラムである。最近、その性能は急速に向上しており、将棋ではプロ棋士を打ち負かし、医療現場では人が見逃してしまうような病変を見つけ出し、自動車の自動運転も実現に近づいているらしい。人が苦手とする作業、あるいは人ができない作業を担当するシステムとして、今後も活用されていくことはまちがいない。なぜここまでAIが実用化されるようになったのか、その主な理由は二つある。一つは、従来から続いているコンピュータの性能（演算速度と記憶容量）の飛躍的向上であり、もう一つは、やはり従来からあるニューラルネットワークを発展させたディープラーニング⁽²⁾（シンソウ学習）という新たな計算方法（アルゴリズム）の開発である。

ニューラルネットワークとは、ニューロンが繋がった神経回路の動作を真似た数学的モデル、つまり計算式である。その真似ている神経回路の動作とは、一つのニューロンに複数のニューロンからの入力と同時にあり、そのニューロンが発火し、それが次のニューロンに伝わるという一連の動作である。またそれに、ニューロンが発火すると、その入力部分つまりシナプスが変化することでニューロンの感受性（ニューラルネットワークでは重みづけと呼ぶ）が増し、次の入力の効果がより大きくなる、という動作も加わる。このように振る舞うネットワーク（計算式）が、入力層、中間層（隠れ層ともいう）、出力層に分かれて存在し、入力された情報を入力層→中間層→出力層と処理していくことで、最適な答えを出していく。ディープラーニングとは、この中間層の数を増やしたニューラルネットワークであり、その結果、答えの精度を飛躍的に向上させることに成功した。この成功には、新たなアルゴリズムの開発はもちろんであるが、多くの層にまたがる膨大な計算量を短時間でこなせる高性能コンピュータの登場が

大きく寄与している。

(b)、このようなディープラーニングにより本格的な実用化が始まったAIについて、奇妙な説明を目にすることが多い。それが「ヒトの脳の動作をモデル化したネットワークである」という説明である。たしかにディープラーニングの基礎にあるニューラルネットワークは、ニューロン間の信号伝達を真似ているが、ここまでに詳しく説明したように、実際の脳では一つのニューロンに数千の入力部分、すなわちシナプスがあり、ここでは非常に不確実で確率的な信号伝達が行われている。しかも、入力を担当する樹状突起上で生じる信号の逆方向伝播、変化することがない直接結合である電気シナプス、軸索を覆うミエリンの変化による信号の伝達速度の調整、電気信号以外に軸索上を機械的に伝わる圧縮波などが、脳の信号伝達には関係している可能性がある。さらには、シナプスを介さない細胞外スペースにおける神経修飾物質のカクサンヤ³、そこを電場とした信号伝達も関わっているらしい。つまり、脳の動作はまだ未解明であり、それをモデル化することは不可能なはずである。

他にも「脳内のネットワークが徐々に学習を重ねることで画像や音声を認識するという方法を真似ている」あるいは「大脳皮質の神経回路構造を真似て」などの説明もよく見るが、どちらも実際の脳ではよくわかっていない。ヒトの認識のメカニズムはいまだ不明であり、それが徐々に学習を重ねることで可能となるとは、必ずしもいえそうにない。動物の幼体やヒトの乳幼児は、かなり初期の段階から人の顔を他の物体と区別できるからである。□

また、大脳皮質の回路構造は当初の予想よりはるかに複雑で、その解明は困難をきわめている。ヒト脳の神経回路の構造を完全に解明することを目指すヒトコネクトーム計画が始まったのは2009年であった。しかしこれまでに、302個のニューロンと7800カ所のシナプスしかもたない全長1ミリの線虫(C・エレガンス)の神経回路構造を解明しただけである。この脳をもたない小さな虫を相手に10年以上の歳月が必要であった。一方、ヒトの脳には1000億のニューロンと500兆のシナプスがある。コネクトーム計画は現在、ハエの神経回路構造に取り組んでいるが、それが解明された後、ようやく哺乳動物のマウスに取り掛かるらしい。

もちろん、このような批判は、決してAIの価値を否定しているわけではない。また、言葉尻をとらえたり揚げ足取りをしたりしているわけでもない。AIの研究者が「脳を真似て」というとき、それは「現時点でわかっている脳の概略からヒントを得て」というぐらいの意味であり、脳が完全にわかっているとは誰も思っていないであろう。しかし、脳についてこれまでわかってきた断片的な知見や、教科書に載っているような概略こそが本質であるとは、現時点ではとてもいえないであろう。現在、次々と見つけている詳細な構造や機能が、あるいは、まだ見つかっていない構造や機能が、きわめて重要である可能性も高い。

^B AIが脳を真似ているという言動をしつかり批判しなければならぬ理由がもう一つある。それは、AIの研究者の一部が(少

数ではあるが)、AIの研究が、特にディープラーニングの研究が、逆に脳の神経回路で起きていることを明らかにすると本気で考えているからである。AIが人と同じように画像を認識できると、脳はAIのような方法で画像を認識していると考えられる。あるいは、メタ記憶(覚えていることを覚えていること)のような「⁴⁾コウジな機能も、AIで同じように実現できることがわかっているが、そこから脳はメタ記憶をAIのような方法でつくっていると結論するのである。しかし、これはさすがにまったくまちがっている。空を飛ぶ飛行機をつくっても、それが、鳥が空を飛ぶメカニズムを明らかにしたわけではないのと同じである。ハ

(c) AIは多くの場面で人にとって代わり、また人の能力を凌駕(りょうが)しつつある。しかしそのことは、すべての面で人の能力を超えていくことを意味しない。AIは特定の場面でのみ使える能力しかもたないからである。当時、世界最強の囲碁棋士であったイ・セドル九段を破ったAI「アルファ碁」は、囲碁以外は何もできない。一方、イ・セドルは、言語を自由に使うことはもちろん、料理もし、小説も読み、映画も楽しめる。AIの高性能化は、専用システムとしての高性能化にすぎない。二

現在のAIが得意とする分野の一つが画像認識(パターン認識)である。ディープラーニングとコンピュータの高速化が相まって、過去の膨大なデータを検索し比較することで、人が見逃してしまうような些細な画像の変化を迅速に検出できるようになった。しかし同時に、人の認識にはまったく影響しない些細なノイズが混ざるだけで、非常に不可解な回答を出してしまうことが、しばしば報告されている。

(d)、交通標識を認識する際、「止まれ」と書かれた標識の一部に小さなシールを貼るだけで、AIは「時速45キロメートル制限」というまったく異なる標識と判断した。あるいは、道路を横切る人と、風で飛ばされてきたポリ袋を区別できなかったこともあるという。人はまちがえるとはいえ、これらはさすがにあり得ないミスであり、AIによる自動運転の車など、まだとても怖くて乗れない。また、画像全体に非常に薄いノイズを重ねるだけで、まったく違う画像であると回答することもわかっている。パングの画像に、人にはほとんどわからないようなノイズを重ねるだけで、雄羊であると回答し、全体の色調を変えると、今度はテイベアと回答した。これではAIによる病理診断など、まだとても信用できない。

このようなミス、つまり誤認自体、大きな問題であるが、さらに大きな問題は、AIがなぜ誤認したのかという理由が、なかなかわからないことである。計算方法もプログラムも人が開発したものであるから、どこに原因があるのかすぐにわかると思いがちであるが、そうではない。たしかにプログラムにより実行されるプロセスを⁵⁾タンネンに追うことは可能である。しかし、コンピュータの性能の向上を最大限活用し、膨大なデータを膨大な計算で処理することができるようになった結果、そこで計算され処理される膨大な量の数字を人が追えなくなっており、どこかの計算結果が悪かったのかわからないのである。そしてこのことは、AIのミス、(e)、もとは人がつくったプログラムのミスを回避する方法もわからないことを意味する。ホ

現在、インターネット上で共有されているプログラムを利用しリモートでAIを騙す方法（アルゴリズム）がいろいろと考案されておられ、実際、多方面でAIを混乱させている。このような、いわゆる「敵対的攻撃」は、これからもますます増えるであろうが、AIのどこがどのように混乱したのかわからないことが多い以上、ボウエイ⁽⁶⁾は苦戦を強いられている。

櫻井芳雄 『まちがえる脳』

問一 傍線部(1)～(6)と同じ漢字を使うものはどれか。それぞれ最も適当なものを、次の各群の中から一つ選びなさい。

(1) カイセキ

- ① セキ替えをする。
- ② セキと鼻水が出る。
- ③ セイセキが上がる。
- ④ 恥ずかしくてセキメンする。
- ⑤ 人工トウセキを受ける。

(4) コウジ

- ① カジ育児をする。
- ② ジカ数億円と言われる宝石。
- ③ ジライを撤去する。
- ④ イジゲンの話に聞こえる。
- ⑤ ジイシキ過剰である。

(2) シンソウ

- ① シンシ的な振る舞い。
- ② 家をシンチクする。
- ③ カンシンを寄せる。
- ④ シンコクな悩み。
- ⑤ シンミになって相談に乗る。

(5) タンネン

- ① イツタン取りやめる。
- ② タンジュンな性格。
- ③ タンセイを込めて作り上げる。
- ④ タンレンを積む。
- ⑤ ダイタンなデザイン。

(3) カクサン

- ① カイカクをおこなう。
- ② ナイカク総理大臣となる。
- ③ カクダイして観察する。
- ④ メイカクな表現を心がける。
- ⑤ カクベツなおいしさ。

(6) ボウエイ

- ① エイヨウが足りない。
- ② エイギョウ時間を確認する。
- ③ エイキョウを受ける。
- ④ 小説がエイゾウ化される。
- ⑤ エイセイ的な部屋。

問二 空欄（ a ）（ e ）に入る語としてそれぞれ最も適当なものを、次の中から選びなさい。ただし、同じものを複数回使ってはならない。

- ① しかし ② このことから ③ たしかに ④ それならば ⑤ つまり ⑥ たとえば

問三 傍線部A「『ヒトの脳の動作をモデル化したネットワークである』という説明」は、なぜ奇妙なのか。三十五字以内で説明しなさい。

問四 傍線部B「AIが脳を真似ているという言動をしっかりと批判しなければならぬ理由」として、筆者の考えと合致しないものを、次の中から一つ選びなさい。

- ① 脳について分かっている断片的な知見や、教科書に載っている概略が脳の本質であるとはいえず、現在見つかっている、あるいは、未発見の構造や機能が、仕組みとしてきわめて重要である可能性も高いから。
- ② AIのディープラーニングは、中間層が大幅に強化されており、脳を忠実に再現した計算式であるニューラルネットワークとは全く異なっているから。
- ③ AIと異なり、脳では一つのニューロンに数千のシナプスがあり、そこでは非常に不確実で確率的な信号伝達が行われているから。
- ④ AIと脳は、徐々に学習する点が似ているとする説明があるが、例えば顔の認識は、動物やヒトの乳幼児ではかなり初期に獲得されるなど、AIと同様の学習とは言い難い機能もあるから。
- ⑤ AIのディープラーニングの基礎になっているニューラルネットワークが、そもそも脳を忠実に再現したとはいえない仕組みだから。

問五 次の一文は、本文中の のどこに入るか。最も適当なものを、後の①～⑤の中から一つ選びなさい。

そして高性能化とはうらはらに、AIの脆弱性^{ぜいじ}と危険性が次第に指摘されるようになってきた。

- ① ② ③ ④ ⑤

問六 傍線部C「これはさすがにまったくまちがっている」と筆者が述べている理由として、最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

- ① 飛行機の仕組みが、鳥が空を飛ぶメカニズムと同じではないのと同様に、機能が同じものでも、その内部のメカニズムまで同じとはいえないから。
- ② メタ記憶のような機能もAIで実現できると同様に、機能が同じであれば、内部のメカニズムも同じように再現されていると考えてよいから。
- ③ ヒトコネクトーム計画の進行速度が示すように、ヒト脳の完全解明にはまだ気の遠くなるような時間がかかると考えられ、AIはヒト脳を真似ずに独自に進化させるほうが現実的だから。
- ④ 鳥の翼と飛行機のエンジンが素材的には全く異なるものからできているように、生物の脳と、機械であるAIは、そもそも物質的に異なるものだから。
- ⑤ 人間は将棋を指すほかに料理をし、小説を読み、映画も楽しめるなど多様な機能をもつが、AIの高性能化は、専用システムとしての高性能化のみだから。

問七 本文の内容と合致するものを、次の中から一つ選びなさい。

- ① ニューロンとシナプスの基本的な動作は解明されているため、神経回路の動作を数式で記述し、プログラムで再現することは可能だが、コンピュータの性能が向上し計算量が膨大になってしまったことが、それを困難にしている。
- ② AIの得意分野である画像認識では、人が見逃してしまうような些細なノイズによってAIが誤認を起こすことが明らかになっており、AIは我々の生活にとって非常に危険で、すぐに活用を中止するべきである。
- ③ 脳の完全な配線図がなくても、ニューロン間の接続には規則性があるため、神経回路をプログラム上で構成することは可能だが、不確実な伝達が行われる脳と違って、機械は正確であることが、AIによる脳の再現を困難にしている。
- ④ AIは多くの分野で進化を続けており、今後も活用されていくことはまちがいないが、まだミスや誤認も多く、膨大なデータの中でどの計算結果が悪かったのかを見つけられないといった問題もある。
- ⑤ デイープラーニングが進化していけば、AIはいずれ脳と同じように働くようになり、将来、AIが心を持ち、ヒトの脳を超えた人工脳になることはまちがいない。

問題一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

わざわざ倫理の本を手にとる人ならば、おそらくは何らかの意味で道徳は大事だと思っているだろうし、そんなことを問うなんて、そもそもにもほどがあると思うかもしれない。あるいは逆に、「道徳は特に大事ではない」ということが真理だとすれば、この本は特に大事でもないことについて、エン⁽¹⁾と述べてきたことになる。そして、仮に道徳的な真理が存在して、道徳的な問いに何らかの答えが出せたところで、それがどうした、ということにもなりかねない。

実際、小学校や中学校の授業では、友人や家族を大切にすること、嘘をつかず正直に生きることが道徳的に大事だということを、手を変え品を変え、生徒たちに教え込んでいるのであり、そこでは「そも^Aもそも^Aどうして道徳的に善くなければいけないの？」などということとは決して問われない。道徳的に善くあるべきなのは、トイレに行ったら手を洗うのと同じくらい、当たり前のことなのである（そして、そうしなくてもまったく恥じるところのない人がいる点でも両者は似ている）。イ

倫理学に目を移しても、長らくその議論の中心を担ってきたキ⁽²⁾ハン倫理学においては、善い行為とは何か、正しい振る舞いとは何か、有徳な性格とは何かが問われており、それらの問いに対する答えが出れば、私たちはそうした行為や振る舞いをする、というのが前提となっている。そして応用倫理学の場合は、さらにそれが当然視されており、ここでは医師が、看護師が、技術者が、企業人が、アスリートが、教師が、一市民が、親が、子どもたちが、倫理的に善く振る舞うにはどのようにすればよいかが問われている。

(a)、そうした前提や当たり前のことを、あえて立ち止まり、一歩下がって、「そももさあ」と言ってもう一度問い直すのがメタ倫理学であった。実際、よく考えてみれば、道徳が重要であることはそこまで自明ではないかもしれない。世間には道徳などまったく無視しているのかのように見える人々がいる。平気で嘘をつき、人を傷つけ、私利私欲をむさぼり、権力を濫用して、何とも思っていないさそうな人たちがいる。彼らは道徳にまったく縛られない。その一方で、私たちは道徳に雁⁽³⁾字⁽³⁾擽⁽³⁾めにされて、無人の道路の赤信号一つ渡るのにでも、良心の呵⁽⁴⁾責⁽⁴⁾を感じる。いい人は徹底的に利用されて、正直者は馬鹿を見る。こんな世の中でも、私たちは道徳的に振る舞い続けなければならぬのだろうか。道徳を気にしない彼らの方が正しいのではないのだろうか。そもそも、私たちには道徳的に善いことをする理由があるのだろうか。

私たちにはいかなるときでも道徳的に善く振る舞うべき理由があるのだろうか。(b)、なぜ私たちは道徳的に善く振る舞わねばならないのか。この問題はWhy be Moral^B問題とも言われるものだが、プラトンはこの問題を、すでに二五〇〇年前に『国家』

の中のソクラテスとグラウコンの討論の中で取りあげている。そこでグラウコンは、「ギューゲースの指輪」という、嵌めることで姿を透明にできる道具があったらどうか、とソクラテスに問う。透明になることで悪事をし放題となり、結果、栄華を極め他人からも賞賛される人生と、悪いことは何もしなかったがとても貧しく何の賞賛も得られない人生と、どちらがよい人生か。前者ではないのか、どうなのか。

ソクラテスは当然グラウコンに反発し、ここから二人の真剣勝負が始まるのだが、もしも絶対にはれない悪事というものが可能な場合、それをする⁽³⁾ことにミリヨクを覚える人は多いだろう。誰しも、一度くらいは透明人間になって、セツトウ、不法侵入、その他、好き放題やることを夢見たことがあるのではないか。あるいは、絶対にはれないまでも、誰も見ていないところで道にお金が落ちていたら。店員さんが間違っておつりを少し多く渡してきたら。本当は大学生なのに高校生料金を請求されたら。すごく急いでいるときに、電車に乗るための行列の間に微妙に隙間があったら。お一人様一つずつと書かれているが誰も見ていなかったら。□ □

では、あらためて、この問題をこのような形で聞きたい。「そもそも私たちには道徳的に善く振舞うべき理由があるのだろうか」。例によって、この問いに対する答えは、倫理学においても様々である。

とはいえ、本題に入る前に、行っておくべき準備作業がある。それは、^c「道徳的に」という語は何を意味しているのか、という問題である。それがわからないと、道徳的に善くあるべきか、という問いが問うていることの意味がわからないということになる。

その際、注意が必要なのは、あくまでここで問われているのは道徳の形式的な特徴である、ということだ。つまり、何が道徳的に善いかとか、悪いかということはここでは問題ではない。むしろ、ある事柄が道徳にかかわるものか、そうでないかを判断するための規準は何か、ということが重要なのである。(c)、「美的に」という語を適用するための規準は、事柄が美にかかわっていることだろうし、「経済的に」という語を適用するための規準は、事柄が金銭などにかかわっていることだろう。「宗教的に」であれば、神や超自然的なもの、信仰などにかかわっていることがその適用条件かもしれない。□ □

では、「道徳的に」の適用条件は何だろうか。大きく分けて、二つの捉え方がある。一つは「他人にかかわる」ことである。嘘をつかない、優しくするなど基本的には人間関係にかかわることであり、道徳とはそのような人と人がこの社会の中でうまくやっ⁵⁾ていくためのルールである、と考える人たちは、このような条件を設定するケイコウにある。

他方、道徳とは必ずしも他人にかかわることだけではないと考える人たちもいる。彼らは、道徳とは私たちそれぞれの生き方を示すものだと考える。他人がどうこうではなく、自分自身がなすべきことをなし、恥じるところのない生き方をする、そ

の指針が道德である。この場合、「道德的に」の適用条件は、対象が人としての理想の生き方にかかわっていること、というものなる。

前者の他人にかかわることだけを道德と考える解釈は「狭い道德」、後者の当人の生き方にかかわること全般を道德と考える立場は「広い道德」と言われることがあるが、ここでは基本的に広い道德で道德を理解し、その上で、必要に応じてどちらの意味での道德ということを使うものとする。これを踏まえてあらためてこれまでの問題を捉え直すと、「そもそも私たちにいつでも人としての理想的な生き方につながるような振り舞いをする理由があるのか」ということになるだろう。

Why be Moral問題は、私たちがその問いを發している場面とはどういう場面なのか、どんなことを知りたくて、どんなことを解決したくて、その問いを發しているのか、というところから考えなければ、答えることができないと述べた。実際、私たちの生活を振り返ってみるならば、一方で、私たちは反省し、理由を問い続ける存在である。個々の場面で、私たちは困難な選択に直面し、その中からなんとかして正しい、より善いと思える選択肢を選び出すことが理性的で道德的な在り方である。そこで道德的であろうとすることを放棄することは、理性的な人としての在り方を放棄することである。他方で、私たちは選択の瞬間だけを生きているわけではない。何気ない日々の積み重ねが私たちの道德的営みなのであり、その生活の中で世界と真摯に向き合っているという姿勢が、道德的に優れた在り方である。(d)、道德的であろうとすることを放棄するとは、自分に都合のよいマボロシの中で生きようとすることである。自分たちをどんな存在とみなし、道德をどんなものと考え、いったいどんな場面で、何のために Why be Moral問題を問うのか、そうしたことも含めて考えなければ、私たちは道德的に善く振る舞うべきか、という問いに対する答えは出ない。

ホ

いずれにしても、道德の問題を真剣に考えるなら、それが問題としている世界観についてまで思いを馳せる必要がある。物理主義・自然主義が正しいのか、自由意志と選択を重視するのか。それともこの世界には価値が埋め込まれているのか、真理には重要性はあるのか。私たちにはそもそも道德的に振る舞うべき理由があるのかという問いは、かくも根本的な問いである。そして何度も述べてきたように、メタ倫理学はどの論点でもいまだ激しい論争が続いている発展途上の学問である。この Why be Moral問題でも、それは同様である。

佐藤岳詩『メタ倫理学入門』

問一 傍線部(1)～(6)と同じ漢字を使うものはどれか。それぞれ最も適当なものを、次の各群の中から一つ選びなさい。

(1) エンエン

- ① 子どもたちはコウエンで元気に遊んでいる。
- ② エンブンの取りすぎには注意が必要だ。
- ③ 授業の時間が予定よりもエンチョウした。
- ④ エンテンカの中で立ち尽くす。
- ⑤ その猫とは不思議なエンがある。

(4) セットウ

- ① 責任を取ってセツプクする。
- ② セツシュされたデータが利用される。
- ③ 交差点でセツシヨク事故を起こす。
- ④ 友達と分け前をセツパンする。
- ⑤ パソコンの初期セツテイを行う。

(2) キハン

- ① 試験ハンイが広すぎる。
- ② 今朝の会議ではハンタイ意見が多く出た。
- ③ この円のハンケイは一メートルだ。
- ④ ハンチョウの指示に従う。
- ⑤ この道具はハンヨウセイが高い。

(5) ケイコウ

- ① ケイトウの違う服を組み合わせる。
- ② 家の近くにヨウケイジヨウが建設された。
- ③ 社会のケイタイは時代とともに変化する。
- ④ 自宅はケイサツシヨの前だ。
- ⑤ この道は緩やかなケイシヤが続いている。

(3) ミリヨク

- ① 彼はミブリで道を教えてくれた。
- ② その島はミカイのままだ。
- ③ 難しい問題をミゴトに解いた。
- ④ ミワク的な景色に息をのむ。
- ⑤ 風邪をひくとミカクが鈍くなる。

(6) マボロシ

- ① ゲンカンに靴がたくさん並んでいる。
- ② トウゲンキヨウのような村に住む。
- ③ 先生はともゲンカクだ。
- ④ ゲンソウ的な夜景に心を奪われる。
- ⑤ ここはゲンセンかけ流しだ。

問二 空欄（ a ）（ d ）に入る語としてそれぞれ最も適当なものを、次の中から選びなさい。ただし、同じものを複数回使ってはならない。

- ① たとえば ② しかし ③ では ④ もし ⑤ あるいは ⑥ そのため

問三 傍線部A「そもそもどうして道徳的に善くなければいけないの？」とあるが、このように道徳的な事柄において当たり前だと思われていることをもう一度問い直すことを何と呼ぶか。本文中から五字で抜き出しなさい。

問四 傍線部B「Why be Moral問題」とあるが、その説明として本文の内容と合致するものを、次の中から一つ選びなさい。

- ① Why be Moral問題は、すでに二五〇〇年前に、グラウコンによって「ギュゲースの指輪」をめぐるソクラテスとプラトンの討論の中で取りあげられている。
- ② Why be Moral問題を考えるには、実際の私たちの生活を振り返ってみる必要はなく、正しい振る舞いとは何かといった倫理的な議論を把握するだけでよい。
- ③ Why be Moral問題、すなわち、私たちにはそもそも道徳的に振る舞うべき理由があるのかという問いは、根本的な問いであり、すでに答えが出ているため、改めて問う必要はない。
- ④ Why be Moral問題に答えるには、自分たちの存在や道徳を考えるだけでなく、問われている場面や問われている目的といった問題の背後にある世界観も含めて考える必要がある。
- ⑤ Why be Moral問題では、もしも絶対にはれない悪事というものが可能な場合でも、誰一人として悪事に惹かれることはないと考えられている。

問五 傍線部C「そもそもここでの『道徳的に』という語は何を意味しているのか」とあるが、「道徳的に」という語を適用するための規準を六十五字以内で説明しなさい。

問六 次の一文は、本文中の のどこに入るか。最も適当なものを、後の①～⑤の中から一つ選びなさい。

そう、誰も見ていなかったら、誰も気づいていなかったら。私たちは、つい、道徳に反することをしてしまうことがあるのではないか。

- ① ② ③ ④ ⑤

問七 本文の内容と合致するものを、次の中から一つ選びなさい。

- ① 日本の小学校や中学校では、「私たちにはそもそも道徳的に振る舞うべき理由があるのか」という根本的な問いを扱うことで、道徳的に振る舞うことの大切さを教えている。
- ② 応用倫理学においては、善い行為とは何かという問いに答えが出たとすると、私たちは善い行為しかできなくなるのだろうか、ということが議論されている。
- ③ ある事柄が経済にかかわるものか、そうではないかを判断する規準は、その事柄が神や超自然的なもの、信仰などにかかわっていることである。
- ④ プラトンの『国家』では、ソクラテスは、悪事をし放題かつ他人からも賞賛される人生と、悪いことは何もしなかったがとても貧しく何の賞賛も得られない人生であれば、前者の方がよい人生であると結論付けている。
- ⑤ 世の中には、平気で嘘をつき、人を傷つけても何とも思っていないさそうな人がいるので、道徳が重要であることはそこまで自明ではないかもしれない。

